

第二十二回
初秋ひたち

能と狂言



平成30年9月1日(土)

日立シビックセンター音楽ホール特設能舞台

第1部 特設能舞台での能楽体験会(無料)

受付日 7月7日(土)10:00から

第2部 能と狂言の公演 開場 13:00 開演 14:00

入場料 (全席指定) : S席 5,000円、A席 3,000円、B席 2,000円
高校生以下はS席とA席のみ 1,000円引

チケット発売 6月2日(土)10:00より日立シビックセンター1階チケットカウンターにて販売(電話予約は翌日から)

【交通のご案内】JR常磐線日立駅から徒歩3分 / 常磐自動車道日立中央インターから8分 / 地下駐車場 255台収容(有料)

【チケット予約・お問い合わせ】日立シビックセンター 茨城県日立市幸町1-21-1 ☎0294-24-7720(10:00~18:00)

【ベビーシッターサービス】(料金: 1人1,000円) 8月17日(金)までに日立シビックセンター1階チケットカウンター
または電話にてお申し込みください。

主催: 市民のための能を知る会実行委員会 / 公益財団法人日立市民科学文化財団

後援: 日立市 / 日立市教育委員会

日立市文化協会 / 日立能楽会

茨城新聞社 / (株)JWAY

詳しくは日立シビックセンターウェブサイト www.civic.jp

<https://www.facebook.com/hitachicivic>

[@hitachicivic](https://twitter.com/hitachicivic)



能 能
狂言 仕舞

羽衣 融
霞留 萩大名
松風

粟谷能夫 粟谷明生
野村万蔵 友枝昭世

番組

能 粟谷 能夫

霞留

ワキ 宝生 欣哉

大鼓 亀井 広忠
小鼓 鶴澤洋太郎
地頭 友枝 昭世
太鼓 小寺眞佐人
笛 杉 信太郎

狂言

萩大名

シテ 野村 万蔵

アド 河野 佑紀
小アド 能村 晶人

仕舞

松風

友枝 昭世

能

融

シテ 粟谷 明生

ワキ 宝生 欣哉

アイ 野村万之丞

大鼓 亀井 広忠
小鼓 鶴澤洋太郎
地頭 出雲 康雅
太鼓 小寺眞佐人
笛 杉 信太郎

◆能『羽衣』

霞留

春霞たなびく三保の松原。

漁夫白龍が長閑な景色を愛でて、天空から花が降り妙なる音楽が聞こえただならぬ気配がする。見れば松の枝にこの世のものとは思われぬ美し衣がかかっているではないか、白龍は家の宝にしようと思われ帰ろうとする。

天人が声をかけ、それは天の羽衣であり、これなしでは飛行もかなわず、天界にも帰れないと嘆く。その姿はまさに天人五表そのまま。

さすがに、白龍は哀れに思い、天女の舞を見せてくれるならばこの衣を返すという。喜ぶ天人は衣なしでは舞えないと先に返してほしいという。白龍は先に返すとそのまま飛び去るのではないかと疑う。「いや疑いは人間にあり、天に偽りなきものを」という天人の言葉に恥じ入り、白龍は衣を返した。

天女は美しい衣の袖を翻しつつ舞い遊び、宝の数々を国土に降らせ、春風に衣をたなびかせ、富士の高嶺を越え、天上に帰って行った。

◆狂言『萩大名』

狂言「萩大名」は田舎者の無知を笑うという趣向の作品である。大名と言っても、戦国時代の守護大名ではなく、田舎のちよつとした地主といったものだ。田舎者であるから、教養があるわけではなく、かえって野卑といつてよい。そんな野卑な大名が京へ来たついでに、優雅な遊びがしたいという。しかしそもそも、日頃優雅とは無縁なことから、人前でとんだ恥さらしをする。それを笑うというのが、この狂言の趣向である。大名が無知な役柄にある一方、太郎冠者が多少の教養をもった人間として描かれている。そのへんどころが、他の大名狂言とはちよつと違ったところだ。

◆仕舞『松風』

須磨に流された貴公子在原行平に寵愛された賤が海女乙女松風、村雨の姉妹の物語。仕舞では松風が行平の思いに狂乱し舞を舞った後から、最後までを見せる。

◆能『融』

諸国を巡る旅僧が六条河原の院に着くと、そこに汐汲みの姿をした老人が現れる。海辺でもないのに汐汲みとは不審であると旅僧が問うと、老人はこの六条河原の院で、源融大臣が、陸奥の千賀の塩竈をうつつした庭を造営した故事を語り、つまりここではたどえ河の水を汲んでも池の水を汲んでも、汐汲みなのだと言ふ。そのうちに月が上り、二人は秋の興趣をたのしむ。旅僧がさらに融大臣について尋ねると、老人は華やかな過去のこと、今は相続する人もなく荒れ果てていことを語り、昔恋しやと泣き崩れる。その後旅僧に乞われて都の名所を教えるうちに、老人は長物語で忘れていたと思出し、汐汲みをして、姿を消す。旅僧が夢中の再会を期して旅寝していると、融はありし日の姿を現し、陸奥の千賀の塩竈に心を寄せ、酒宴で舞に興じた姿を再現し、夜明けとともに月の都に帰る。

能楽文化サロン 「演者から見る能 羽衣と融」

【とき・ところ】平成三十年七月二十二日(日) 十四時

日立シビックセンター 会議室

【内 容】九月一日(土)に開催する初秋ひたち能と狂言の演目の「羽衣」と「融」を、能楽師の粟谷明生先生が演者から見た内容でわかりやすく解説いたします。

【講師】粟谷 明生

【主催】市民のための能を知る会実行委員会
公益財団法人日立市民科学文化財団

申し込み受付中

【参加料】無料(定員八十人・先着)

【申し込み・お問い合わせ】日立シビックセンター

0294-24-7755

